

国家戦略特別区域法第8条第3項及び第4項に基づく公表及び申出について

平成 29 年 9 月 4 日

東京圏国家戦略特別区域会議

国家戦略特別区域法（平成 25 年法律第 107 号。以下「法」という。）第 8 条第 3 項及び第 4 項の規定に基づき、下記のとおり、東京圏国家戦略特別区域に係る区域計画（同条第 1 項に規定する区域計画をいう。以下同じ。）に定めようとする特定事業の実施主体を公表するとともに、当該特定事業の実施主体として加えるよう申し出る手続を定めたので、当該手続に従い申出を受け付けます。

記

I. 区域計画に定めようとする特定事業の実施主体

1. 都市再生・まちづくり分野

(1) 都市再生特別措置法の特例（国家戦略民間都市再生事業）

- ・株式会社世界貿易センタービルディング
- ・鹿島建設株式会社
- ・東京モノレール株式会社
- ・東日本旅客鉄道株式会社

(2) 都市計画の決定・変更に係る都市計画法の特例（国家戦略都市計画建築物等整備事業）

- ・三井不動産株式会社
- ・鹿島建設株式会社
- ・ヒューリック株式会社
- ・住友不動産株式会社
- ・森ビル株式会社

2. 医療分野

(1) 二国間協定に基づく外国医師の業務解禁

- ・トウキョウ メディカル エンド サージカル クリニック

II. 法第 8 条第 4 項の規定に基づく申出（以下単に「申出」という。）の手続

1. 申出をすることができる事業者

次のすべての要件を満たす必要があります。

- ・東京圏国家戦略特別区域内において、上記の I. に掲げる特定事業を実施しよう

とする者であって、当該特定事業の熟度が高く、区域計画認定後速やかに事業を開始できる者であること。

- ・当該特定事業が、東京圏国家戦略特別区域について定められた区域方針（法第6条第1項に規定する区域方針をいう。）に即して、国家戦略特別区域における産業の国際競争力の強化又は国際的な経済活動の拠点の形成に資するものであること。
- ・当該特定事業が、特定事業ごとに法令等で定められた別紙に掲げる要件を満たすこと。

2. 申出方法

(1) 提出書類

申出にあたっては、国家戦略特別区域法施行規則（平成26年内閣府令第20号）第6条の規定に基づき、次に掲げる書類を各1部提出してください。

(i) 別記様式

(ii) 定款（法人である場合に限る。）及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの
その他、必要に応じて参考資料を添付いただいても結構です。

(2) 提出期限

平成29年9月11日（月）10時までに必着とします。

(3) 提出先

内閣府 地方創生推進事務局内 東京圏区域会議担当

（住所）〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎6階

(4) 提出方法

郵送又は持参にて、提出書類を上記の（3）提出先へご提出ください。なお、郵送等による配達の場合には、封筒の表面に「東京圏申出書類在中」と朱書きしてください。

【留意事項】

「別記様式」は、A4サイズとし、片面印刷として下さい。

（両面印刷は避けてください。）

(5) その他留意事項

- ・提出いただいた書類については返却いたしませんので、予めご了承願います。
- ・提出期限に遅れて到着したものは、配達事故や通信事故など理由の如何を問わず、受け付けません。ご注意ください。
- ・内容の詳細等を確認することがありますので、「別記様式」には連絡先等を必ず記載してください。

3. 特定事業の実施主体としての追加について

提出書類に基づき、1. で定めた要件を満たすものと東京圏国家戦略特別区域会議が認めた場合には、当該申出に応じるものとし、区域計画において当該特定事業の実施主体として加えることとします。結果は、決定次第速やかに申出者に通知します。

※ 提出書類の記載内容に基づき、特定事業の実施主体として加えるか審査します。そのため、要件を満たしていることが明確にわかるようにご記載ください。なお、場合により、要件への適合性等を審査するため追加の資料を求めることがありますので、予めご了承ください。

【連絡先】 ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

内閣府 地方創生推進事務局内 東京圏区域会議担当

(電話) 03-5510-2462 (メールアドレス) i.kokkatoc@cao.go.jp

(別紙) 特定事業の種類及び要件

分野	特定事業	要件
都市再生・まちづくり	都市再生特別措置法の特例（国家戦略民間都市再生事業）〔法第 25 条関係〕	別添 1
	都市計画の決定・変更に係る都市計画法の特例（国家戦略都市計画建築物等整備事業）〔法第 21 条関係〕	別添 2
医療	二国間協定に基づく外国医師の業務解禁〔通知、検討方針 1. (1)〕	別添 3

《凡例》

法 : 国家戦略特別区域法

通知 : 「日英医師相互開業に関する取りきめ」に基づく英国人医師の診療対象について（平成 27 年 1 月 29 日医政発 0129 第 8 号）

検討方針 : 国家戦略特区における規制改革事項等の検討方針（平成 25 年 10 月 18 日日本経済再生本部決定）

※ 各特定事業について法令等で個別に定められている要件として別添 1～3 の各シートにおいて記載する要件のほか、一般に、当該事業の確実な実施が見込めることを考慮し、実施主体への追加を行います。

(別添 1)

都市再生特別措置法の特例（国家戦略民間都市再生事業）〔法第 25 条関係〕

【要件】

- ①事業を実施する場所が国家戦略特別区域内にあること。
- ②産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成を図るために、民間都市再生事業計画を作成して行う都市再生事業（都市再生特別措置法第 20 条第 1 項に規定する都市再生事業をいう。）を行おうとするものであること。
- ③実施時期については、2020 年までの着工を予定していること。

(別添 2)

都市計画の決定・変更に係る都市計画法の特例(国家戦略都市計画建築物等整備事業)
〔法第 21 条関係〕

【要件】

- ①事業を実施する場所が国家戦略特別区域内にあること。
- ②産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成を図るために必要な建築物その他の施設を整備する事業であって、都市計画の決定又は変更により可能となるものを行おうとするものであること。
- ③事業の規模については、0.5 ヘクタール以上であること。
- ④実施時期については、2020 年までの着工を予定していること。

(別添3)

二国間協定に基づく外国医師の業務解禁

〔通知、検討方針1.(1)〕

【要件】

- ①国家戦略特別区域内にある病院又は診療所であること。
- ②外国医師を受け入れ、当該外国医師により外国人一般に対して診療を行わせるため、二国間協定の締結又は変更を求めようとするものであること。